



## 外国語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S45 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営			経過年数					49 年			
補助率												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[ 元気な社会 ]			関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]				
[事業目的]												
外国語指導助手を配置し、中・高校生に生きた英語に接する機会を提供することにより、国際社会で活躍できる人材を育成する。												
[事業内容]												
①配置人数 111名（中学校75名 高校35名（中国語1名含む） 義務教育課1名）												
②業務内容 (1) 英語および中国語の授業における教材作成等の授業準備およびチーム・ティーチングなど (2) 英語教育に関する活動（中学校英語セミナー、放課後に生徒と英会話教室等）の支援 (3) クラブ、部活動の補助など												
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 84,000人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・市町が独自に雇用しているALTは49名（JET、直接雇用、委託等）であり、市町によって配置人数や授業担当時間に差がある。 ・中学校の授業に支障がない場合、小学校の要請を受けて、中学校配置ALTが小学校で英語指導を行う。				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
・平成27年度から、計画されていたALT増員の最終年度であり、8名のALTを増員し、111名体制となった。				・引き続き、111名のALTを活用し、県内全中学校および高等学校の全学級において、ALTとのチームティーチングなどを実施し、英語力向上を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 外国語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	S45 年度 経過年数 48 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	578,493			(諸) 57,609	520,884		ALT 社会保険料自己負担分							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		439,974	474,899	530,592	575,990	578,493	ALTの賃金および共済費の増額							
2月現計予算額の推移		426,943	455,230	500,420	552,526									
決算額の推移		418,724	451,926	498,061										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 ALT 10名増員</li> <li>・平成28年度 ALT 10名増員</li> <li>・平成29年度 ALT 8名増員</li> <li>・平成30年度 ALT 4名(私立高校派遣分 大学私学振興課に一部持ち替え)</li> </ul>													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	英語授業時間の半分以上 英語を使用する学校の割合	(目標) 64.1 実績	(60) 69.8	(70) 70.9	(70) 72.0	(75)	文部科学省の「英語教育実施状況調査」の結果より							
活動指標	ALT配置数	(目標) 83 実績	(93) 93	(103) 103	(111) 111	(111)								
他県の状況	石川県 ・県立高校、県立中学、教育センターに44名の英語指導助手を配置 (JETプログラムによるALT：県立高校42名、県立中学校1名、センター1名)  富山県 ・高校に英語指導助手44名を配置 (JETプログラムによるALT：県立高校37名、私立高校7名)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 私立高等学校教育振興補助金 (役割分担)  平成30年度より、私立高校へのALT配置は大学私学振興課で実施							

## 道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣
事業主体	県、市町教育委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、委託							□ 補助金				
補助率	10/10							□ その他				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
本県独自の道徳教育用教材を作成・活用し、夢や目標を持った児童・生徒を育成する。												
[事業内容]												
<p>①福井の先人たちの生き方から学ぶ道徳教育を充実「福井県版心のノート（小学校）」「ふくい希望（中学校）」の作成・配布 「心のノート（小学校）」「ふくい希望（中学校）」を活用し、福井の先人の生き方から学ぶ道徳教育を実施し、ふるさと福井への愛着を育てる。</p> <p>②「私の夢カルテ」の作成・配付 自分の体験や考えたことをもとに「私の夢カルテ」として記録し、小学4年生から6年生まで、中学1年生から中学3年生までそれぞれ持ち上がり、夢の実現に向けて自分を振り返る学習を実施</p> <p>③保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」の開催（市町委託）</p>												
[受益者] 小学校・中学校の児童・生徒						[想定される受益者数] 63,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況	保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」を実施					
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
・福井県版心のノート（小学校）、ふくい希望（中学校）、 「私の夢カルテ」を作成し、全公立小中学校に配布 ・「親子で学ぶ道徳講座」を3市町14校で実施			・平成31年度から道徳の教科化（中学校）されることを 踏まえ、教員研修等を実施していく。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	□ 休止	□ 完了			
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

## 道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県、市町教育委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	4,104	4,104					道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		5,744	5,892	5,748	4,104	4,104								
2月現計予算額の推移		5,744	2,711	2,975	2,954									
決算額の推移		2,488	2,455	2,691										
前年度までの 主な増減理由	平成29年度 「心のノート」、「ふくいの希望」、「私の夢カルテ」の作成・配布費用の見直しに伴う減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童の割合(小・中学校)	(目標) 実績	81.9	87.7	86.1	85.3	(85)	H31年度までに85%を目標とする。 (全国学力調査質問紙の結果より)						
活動指標	親子で学ぶ道徳講座実施校数	(目標) 実績	(15) 12	(15) 11	(15) 14	(15) 14	(15)	市町事業実績						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 古典学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]							
[事業目的]														
福井にゆかりのある百人一首などを取り入れた独自教材を作成し、小中学生が古典にふれる機会を充実する。														
[事業内容]														
○百人一首や古文などの作品を掲載した「古典・音読暗唱ノート」をさらに充実させ、県内小、中学生に配布し、国語の授業や朝の会・帰りの会等で活用														
(主な掲載作品)														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県にゆかりのある百人一首（二条院讃岐、紫式部など）</li> <li>・ 橘曙覧の独楽吟</li> <li>・ 詩・県民歌(三好達治)・啓発録（橋本佐内）・議事之体大意（由利公正）</li> <li>・ ことわざ・慣用句・童謡</li> </ul>														
[受益者] 小学校・中学校の児童・生徒						[想定される受益者数] 14,000人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・各市町教育委員会が推薦する授業者による古典に関する公開授業を開催						
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
・「古典音読・暗唱ノート」を作成し、全小中学校に配付を行い、授業での活用や公開授業を実施			・内容の更なる充実を図り、新小学3年生と新中学1年生に配布を行い、朝の会や授業で活用を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 古典学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,843					1,843							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	-	4,472	1,845	1,843							
2月現計予算額の推移		-	-	4,472	1,845								
決算額の推移		-	-	4,461									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 小学3年生～中学3年生に配布</li> <li>・平成29年度 新小学3年生、新中学1年生にのみ配布するため予算額減</li> </ul>												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	授業等で活用している学 校数	(目標)	-	-	(266)	(265)	(265)						
		実績	-	-	266	265							
活動指標	古典音読・暗唱ノートを 配布した学校数	(目標)	-	-	(266)	(265)	(265)	全小中学校に配布					
		実績	-	-	266	265							
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市教育委員会では、市内の小学校5・6年生、中学校1、2年生に「古典・名文暗唱ノート」を配布し、授業や朝の学習等で古典や名文の音読・暗唱に活用している。</li> </ul>					関連事業の有無・ 役割分担		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 無</li> <li>□ 有 事業名 (役割分担)</li> </ul>					

## 小中学校ふくい理数グランプリ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]															
「ふくい理数グランプリ」を開催し、児童・生徒の数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起し、科学的な思考力・表現力等を育成する。															
[事業内容]															
<p>①福井理数グランプリ（小学校部門）の開催 小学生を対象とした「ふくい理数グランプリ」を開催し、算数、理科や科学技術に対する興味や関心を喚起</p> <p>②ふくい理数グランプリ（中学校部門）の開催 中学生を対象に、3人一組で日常生活にある課題を科学的に解明する理数グランプリを実施し、科学的な思考力・判断力を育成</p> <p>③中高接続のための「理数ゼミ」の開催 ふくい理数グランプリで上位に入賞した小学生、中学1・2年生を対象に専門の講師を派遣し、さらなる学力の向上を図る。</p> <p>④科学の甲子園ジュニアへの対策 科学の甲子園ジュニアへ出場する福井県代表6名に対し、上位入賞対策を実施</p>															
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 42,000人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
・中学校ふくい理数グランプリチャレンジステージに435チーム1,292名が参加し、グランプリ本選には21チーム62名参加 ・科学の甲子園ジュニア福井県最終選考会には21チーム63名参加 ・小学校ふくい理数グランプリのチャレンジステージに280チーム827名が参加				・児童、生徒が理数グランプリに参加することで、理数好きな生徒を増やすとともに、上位層は理数ゼミでレベルアップを図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 小中学校ふくい理数グランプリ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,238			(諸) 462	776		科学の甲子園ジュニア都道府県代表選考費用支援							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		-	-	1,308	1,348	1,238								
2月現計予算額の推移		-	-	1,308	1,348									
決算額の推移		-	-	813										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 高校教育課から中学校理数グランプリ、理数ゼミ予算の持ち替えおよび小学校理数グランプリを新規開催</li> </ul>													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	算数・数学や理科の勉強が 好きだと答える児童生徒 の割合 (目標)	72.8%	72.7%	73.9%	73.1	(75%)	H31年度までに75%を目標とする。 (SASA質問紙の結果より)							
活動指標	理数グランプリ参加者数 (人) (目標)	1,128	1,090	2,165	2,119		H31年度までに1,500名を目標とする。							
他県の状況	<p>石川県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに石川県中学生サイエンスチャレンジを行い、県内3会場で、66校101チーム303名の中学生が参加し、実技競技に挑戦</li> </ul> <p>富山県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「とやま科学オリンピック」事業</li> <li>・平成23年度から、夏休みに年1回、教科書に掲載されていない理数の筆記試験などを実施し、平成29年度は小学校部門で361名、中学校部門で547名が受験を行った。</li> </ul>					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいサイエンスプロジェクト事業 (役割分担)  高校教育課 高校部門ふくい理数グランプリの開催						

## 芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県政 ] 政策 [ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化を芸術 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
弦楽器や日本画を小学校から体験させ、小中学校での奏者育成や高校弦楽部のレベルアップを図るとともに、形や色彩等による表現の技能を育成する。												
[事業内容]												
<p>(1) 弦楽器活動の育成 小・中学生、高校生の推進校に弦楽器を貸与し、県内外で活躍する弦楽器奏者を派遣し、技術・表現力の向上を図るとともに、合同練習会や発表会の機会を設け、合奏練習を行う。 (推進校) ①福井市 社北小学校、社中学校、高志中学校      ②敦賀市 松原小学校、松陵中学校           ③小浜市 雲浜小学校、小浜中学校                      ④越前市 王子保小学校、武生第六中学校           ⑤越前町 朝日小学校、朝日中学校                      ⑥藤島高校、高志高校、武生高校、丹生高校、敦賀高校</p> <p>(2) 小学校での童謡・唱歌の活用</p> <p>(3) 日本画を活用した美術教育の推進 ・高校の部活動や授業に藝大の学生などを派遣し、実技指導を実施(年2回実施) ・全中学校、高校に越前和紙と日本画用絵の具を配布し、美術の授業で日本画を描く事業を実施 ・全小学校に越前和紙を配布し、図工の時間に、水墨画を描く事業を実施</p>												
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 84,000人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
[弦楽奏者の育成] ・推進校に松原小学校、松陵中学校および敦賀高等学校を追加し、弦楽奏者のさらなる育成を実施  [日本画を活用した美術教育の推進] ・小学校で水墨画、中学、高等学校で日本画を描く事業を実施				[弦楽奏者の育成] ・推進校の弦楽奏者のさらなる育成  [日本画を活用した美術教育の推進] ・高校の部活動や授業に藝大の学生などを派遣し、実技指導を継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	11,751					11,751								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		8,770	13,591	12,382	15,624	11,751	弦楽器購入費の減額							
2月現計予算額の推移		8,762	13,167	12,382	15,624									
決算額の推移		7,949	12,911	12,008										
前年度までの 主な増減理由	・平成29年度 敦賀地区の小中高等学校に推進校を新たに追加したことに伴う弦楽器整備費の増額													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	弦楽器奏者数	(目標) 実績	(100) 98	(140) 155	(170) 171	(200)	(200)	小中学校の弦楽器演奏者数						
活動指標	発表会の回数	(目標) 実績	(42) 57	(52) 63	(61) 68	(67)								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい文化の担い手育成事業 (役割分担) ・県内すべての小学5年生に対して、音楽堂でオーケストラの演奏鑑賞などを実施 ・〔日本画を活用した美術教育の推進〕における作品鑑賞について、「落葉」のレプリカを作成し学校に貸し出しや、出前授業を実施						

## 吹奏楽活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な県政 ] 政策 [ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化を芸術 ]			関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]						
[事業目的]												
中・高校生の吹奏楽活動のさらなる充実を図るため、県外プロ指揮者等による技術指導や大型楽器の整備など、吹奏楽部の活動を支援する。												
[事業内容]												
①推進高校・中学校が連携して演奏技術を向上 高校（7校）・中学校（19校）を推進校に指定し、同地域の中高が連携した演奏技術の向上を促進するとともに、県外プロ指揮者などによる研修会を実施し、教員の指導力向上を図る。												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロオーケストラ指揮者などによる指導教員研修会を実施（年4回）</li> <li>・高校生と中学生との合同練習会・演奏会を実施（年4回）</li> <li>・導入が困難な大型楽器の購入を支援し、演奏可能な楽曲の拡充を図る。（1校 高等学校1, 650千円 中学1, 250千円）</li> </ul>												
②推進校以外の吹奏楽部の活動を支援 推進校以外の高校（16校）・中学校（39校）に対しても県内演奏家等の地域人材を派遣し、指導者および生徒に対する指導を実施（年4回）												
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 42,000人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校（7校）・中学校（19校）を推進校に指定し、中高が合同で練習会や演奏会を実施</li> <li>・導入が困難な大型楽器の整備</li> <li>・推進校以外の高校・中学校に対し、地域人材を派遣</li> </ul>				引き続き、吹奏楽部の支援を行い、中・高校生の吹奏楽活動のさらなる充実を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 吹奏楽活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣						
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営						□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																	
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	39,360						39,360										
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点										
当初予算額の推移		-	-	-	39,364	39,360											
2月現計予算額の推移		-	-	-	39,364												
決算額の推移		-	-	-													
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠										
成果指標	全国大会入賞校数 (目標) 実績	-	-	-		(2)	平成31年度までに全国大会入賞										
活動指標	指導教員研修受講者数 (目標) 実績	-	-	-		(82)											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									

## 小中学校学力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営											
補助率												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
各小中学校の優れた指導法をまとめた県独自教材を作成し、全小中学校の教員に対し研修会を行い、児童・生徒の学力向上を推進する。												
[事業内容]												
<p>①各学校独自に作成した教材や評価問題の集約を県が行い、「教材・評価問題集」や「学校マネジメント集」を作成し、全小中学校に配付</p> <p>②「教材・評価問題集」、「学校マネジメント集」を活用して、校長や担当教員を対象とした研修会を実施</p> <p>③各学校に講師（大学教授等）を招き、指導方法・教材づくりを研究</p>												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 63,000人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
義務教育課、嶺南教育事務所、教育総合研究所が、推進校を訪問し、優れた教材や組織運営等を聞き取り、「教材・評価問題集」、「学校マネジメント集」を作成し、全小中学校に配布				「教材・評価問題集」、「学校マネジメント集」の更なる充実を図り、校長や担当教員の指導力向上を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 小中学校学力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営										経過年数			2 年
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,970			(基) 2,970				指導力向上基金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		-	-	-	3,218	2,970								
2月現計予算額の推移		-	-	-	2,970									
決算額の推移		-	-	-										
前年度までの 主な増減理由	・「教材・評価問題集」、「学校マネジメント集」の印刷経費の減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	研修参加者数	(目標) -	-	-	(265) 293	(265)	参加教員数							
活動指標	「教材・評価問題集の配布」	(目標) -	-	-	(265) 265	(265)	全小中学校に配布							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 地域と進める体験推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度		
事業実施方法	直営								■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]									
[事業目的]																
児童・生徒が地域の人々とともに、みずから企画・提案した体験学習やボランティア活動を行うことにより、ふるさと福井に誇りや愛着を持つ人材育成につなげる。																
[事業内容]																
<p>○児童・生徒が、自らの地域の良さのPRや課題等の改善を企画・提案する体験学習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井型コミュニティ・スクールを進化させ、すべての小・中学校で、学校と地域住民、企業などの橋渡しを行う「地域コーディネーター」を委嘱。地域が学校に積極的に関わる体制を整備し、子どもたちの体験活動を進化</li> <li>・児童・生徒が地域の特産品のPR、まちづくりへの参画など体験活動を実施 活動内容(例) ■福井駅等で越前水仙をPR ■修学旅行先で観光地をPR ■企画したまちづくり案を市長に提案など</li> <li>・平成30年度は全小中学校(257校)で実施</li> <li>・体験活動費用を助成(1校 20万円を上限 県1/2、市町1/2)</li> <li>・事業成果の報告など研修会を実施</li> </ul>																
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 63,000人										
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況										
[事業の評価]																
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価									
・児童・生徒が企画・提案する体験学習を142校で実施			・平成30年度、全小中学校257校で体験活動を実施				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
							□ 継続	□ 休止	□ 完了							
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

## 地域と進める体験推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	25,900					25,900								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		-	-	2,800	14,400	25,900	推進校を拡充(142校→257校)							
2月現計予算額の推移		-	-	2,800	14,400									
決算額の推移		-	-	2,682										
前年度までの 主な増減理由	・平成29年度 推進校を拡充(28校→142校)													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	地域参画の体験活動を実施した小中学校数	(目標) -	(目標) -	(28)	(142)	(257)	平成30年度に全小中学校で実施							
		実績 -	実績 -	28	142									
活動指標	地域コーディネーターを委嘱した小中学校数	(目標) -	(目標) -	(28)	(142)	(257)	平成30年度に全小中学校で委嘱							
		実績 -	実績 -	28	142									
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## J A X A 宇宙教育推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[事業目的]												
平成31年度に開催される、第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム福井大会に向けて県民の気運を高めるため、JAXA（宇宙航空研究開発機構）職員等による小・中学校対象の講演を行い、宇宙や科学技術に対する興味・関心を喚起する。												
[事業内容]												
小・中学校や理数ゼミにおいて、JAXA職員等が宇宙の研究・開発に関するテーマで講演をブロックごとに行い、宇宙に関する興味・関心を高め、宇宙の不思議を探究しようとする意欲・態度を育成する。 ①講演対象 小学4～6年生、中学1～3年生 ②派遣計画 県内7ブロック×1回 理数ゼミ×1回												
[受益者] 小中学生および保護者						[想定される受益者数] 42,000人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## J A X A 宇宙教育推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	707	353			354	地方創生交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	-	-	-	707							
2月現計予算額の推移		-	-	-	-								
決算額の推移		-	-	-	-								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	理科の学習は好きだと答える児童・生徒数 (目標) 実績	-	-	-	-		H31年度までに75%を目標とする。 (SASA質問紙の結果より)						
活動指標	JAXA講座参加者数 (目標) 実績	-	-	-	-		講座参加者数						
他県の状況	愛媛県 H29年度「JAXA出前事業」 3,664千円 JAXA職員などを講師とした小中高出前事業(80回派遣)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 宇宙技術および科学の国際シンポジウム開催推進事業 (役割分担)  大会支援、県民参加への啓発事業は産業労働部で実施					

## 幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	標準外、政策的経費	シーリング	内外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]															
保育所・幼稚園等の幼児教育現場や幼児の家庭における幼児教育力の一層の向上を図るため、幼児教育支援プログラムに掲げる施策を推進する。															
[事業内容]															
(1) 幼児教育力指導力向上事業 ① 幼児教育キャリアアップシステムの創設 幼児教育力向上会議の開催 ② 先生による研究グループの設置 保幼小接続カリキュラムの実践事例研究 ③ 幼児教育のリーダー（市町幼児教育アドバイザー、園内リーダー）の養成 幼児教育の質向上のための園訪問による実践研修、事例検討会等の実施 ④ 保幼小接続カリキュラムに基づく教育の推進 保幼小接続講座の開催						(2) 家庭の幼児教育力向上事業 ① 保護者の一日保育体験の実施 （保育体験に活用する教材の支給）  (3) 遊び活性化プロジェクト事業 ① 童謡・唱歌を通じた家族のふれあい促進 童謡歌手（由紀さおり）による「童謡で伝える会」									
[受益者] 保育所・幼稚園・認定こども園等の職員、園児およびその保護者						[想定される受益者数] 保育所・幼稚園・認定こども園等の職員、園児およびその保護者									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 （実績）				市町との連携状況		・市町レベルで保育所、幼稚園、認定こども園を指導助言できる人材として、市町幼児教育アドバイザーの養成（市町はアドバイザーの推薦）  ・保幼小接続講座を市町合同で開催							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
・平成27年3月に策定した福井県保幼小接続カリキュラム)を核として、幼児教育の質の向上を図るため、県、大学、市町が連携した幼児教育研修システムを体系化 H29 市町幼児教育アドバイザー27名 園内リーダー91名 ・一日保育体験を通じた保護者の教育力の向上				・保幼小接続カリキュラムを活用し、全市町（17市町）に市町幼児教育アドバイザー、全園（344園）に園内リーダーを養成するための研修を引き続き、実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	標準外、政策的経費	シーリング	内外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	17,463	491		(諸) 465	16,507	・学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金 ・アドバイザー社会保険料						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移		26,515	20,133	19,286	17,159	17,463	・保幼小接続カリキュラムに3、4歳児の内容を追加し、印刷を行う。					
2月現計予算額の推移		22,803	19,628	15,023	14,802							
決算額の推移		17,272	14,902	14,169								
前年度までの 主な増減理由	・平成27年度 保幼小接続カリキュラム印刷経費などの減 ・平成29年度 親力アドバンスコース事業および童謡で伝える会の経費見直しによる減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	園内リーダーの養成人数 (目標)					(344)	H31年度までに344園全てに園内リーダーの養成を行う。					
	実績	-	148	159	91							
活動指標	幼稚園・保育園合同研修実施回数 (目標)											
	実績	38	51	49								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

## 福井県・ドイツ高校生共同学習・交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H14 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]															
<p>本県が友好提携しているドイツ・ハールブルク郡ヴィンゼン市の高校生と本県高校生が共同学習や友好交流を行うことにより、グローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力と広い視野を持った人材を育成する。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 派遣人数 高校生16人、引率教員2人 計18人  (2) 派遣先 ドイツ・ハールブルク郡ヴィンゼン市（ギムナジウムヴィンゼン、ヴィンゼン専門職業学校）  (3) 派遣期間 11日間（10月下旬）  (4) 研修内容 ①事前学習（現地概要、日本とドイツの環境・エネルギー事情、英語での福井県紹介など）  ②訪問校での授業参加  ③ホームステイ  ④実地学習（環境・エネルギー関連施設、ハンプルク大学、現地企業など）</p>															
[受益者] 高校生						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高等学校生徒国際交流事業 (実績) ・本県が友好提携している米国NJ州、中国浙江省、独ヴィンゼン市との間で高校生交流を実施。				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
<p>ヴィンゼン市の高校生を受入  受入日程 平成29年11月7日（火）～11月17日（金）  受入人数 高校生16人、引率者2人  活動内容 現地校での授業参加  環境・エネルギー共同学習  ホームステイ</p>			<p>平成30年度はドイツに高校生を派遣し、共同学習や文化交流を図る。</p>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 福井県・ドイツ高校生共同学習・交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,445			(諸) 2,267		3,178		生徒16名分の個人負担(諸収入)					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	1,475	5,219	1,400	5,445	平成30年度 高校生をドイツへ派遣						
2月現計予算額の推移		-	1,033	4,693	1,400								
決算額の推移		-	1,033	4,693									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県とドイツ・ヴィンゼン市とは平成11年度に友好協定を締結し、その一環として高校生の交流事業を実施してきた。平成23年度の高校生派遣を最後に一時休止していたが、先方の強い希望もあり、平成27年度に共同学習に重点を置いた交流事業として再開することとなった。</li> <li>・平成27年度 ドイツから高校生を受入</li> <li>・平成28年度 高校生をドイツへ派遣</li> <li>・平成29年度 ドイツから高校生を受入</li> </ul>												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	留学した生徒数 (目標)					(30)	H30年度までに30人						
	実績	6	5	9	7								
活動指標	ドイツ高校生受入人数/ 福井県高校生派遣人数 (目標)	-	(15)	(16)	(16)	(16)							
	実績	-	15	16	16								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 英語教育授業改善事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営、補助金													
補助率	1/3													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]							
[事業目的]														
教員の授業改善および生徒の英語力向上を図るため、使える英語力を育成する英語教育を実践する。														
[事業内容]														
(1) <b>新</b> 「日本語と英語の違いに関する指導書」の作成を行い、教員研修で活用 (2) 小学校の英語教科化を踏まえた教材開発および教員研修 (3) 県独自の教材「福イングリッシュ」や「WORD ORDER DRILLS」を作成し、高校1年生に配布 (4) 小、中、高等学校教員に対する研修実施（教材の活用方法、NHKラジオ講座等の語学番組の活用法、学習指導要領改訂に伴う研修など） (5) 県内在住の英語を話せる人材を小・中学校の外国語活動や授業および英語関係の行事に派遣														
[受益者] 小・中・高校生						[想定される受益者数] 84,000人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
・小学校英語教科化に向けた指導案や教材の作成および活用方法に関する研修会を実施 ・高校1年生にオリジナル教材を配付し、授業等で活用 ・人材バンクを活用し、小・中・高等学校などに派遣			・小学校英語教科化に向けた指導案や教材の作成および活用方法に関する研修会を継続していく。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 4,006				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 英語教育授業改善事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、補助金													
補助率	1/3~10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	11,716	2,142			9,574									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		12,653	12,114	18,898	16,492	11,716	・英語教育強化地域拠点事業完了などに伴う減額							
2月現計予算額の推移		10,365	9,734	10,856	14,863									
決算額の推移		9,230	9,307	8,562										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 英語教員免許認定講習実施に伴う増額</li> <li>・平成29年度 英語教員免許認定講習実施主体変更などに伴う減額（県→大学）</li> </ul>													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	高校卒業時に求められる 英語力達成率（%）	（目標）	(40)	(40)	(45)	(50)	(55)							
		実績	35.8%	42.5%	44.8%	52.4								
活動指標	中高英語教員対象研修実 施回数（回）	（目標）	(5)	(8)	(8)	(8)								
		実績	8	8	8	8								
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）							

## 英語力向上事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、補助金													
補助率	1/3~10/10													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]							
[事業目的]														
本県の児童・生徒の英語力向上を図るため、外国に出せる外国語教育を進め、使える英語力を育成する英語教育を推進する。														
[事業内容]														
(1) <b>拡</b> 中・高校生への外部検定試験費用を補助するとともに、中学3年生に対し、民間事業者によるSpeaking testを試行 (2) 県主催英検講座の実施(年2回) (3) 県内の高校生(100名)を対象に海外語学研修を実施 (4) 高校生の短期留学経費の支援および留学フェアなどを開催し、海外への興味・関心を喚起 (5) 留学生を受け入れるホストファミリーに対する支援 (6) 高校生の英語ディベート力を育成するための活動を支援(全国大会参加旅費や宿泊費を支援)														
[受益者] 小・中・高校生						[想定される受益者数] 84,000人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学3年生(約7,300人)に対し、外部検定試験料を支援</li> <li>・ 県主催英検講座には、約2,500人が出席</li> <li>・ 高校生100名を海外語学研修(カナダ)に派遣</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに中学3年生に対し、Speaking Testを試行</li> <li>・ 県主催英検講座を実施し、中学生に対する学習の場を提供</li> </ul>				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
							□ 継続	□ 休止	□ 完了	△ 1,107				
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

## 英語力向上事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、補助金												
補助率	1/3~10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	120,386	1,891		(諸) 22,500		95,995							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		37,056	45,089	89,943	90,745	120,386	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間事業者によるSpeaking Testの試行費用の増額</li> <li>・ 県主催英検講座の実施など</li> </ul>						
2月現計予算額の推移		36,630	43,119	79,367	89,745								
決算額の推移		34,790	42,561	77,992									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度 外部検定試験の受験補助に伴う増額</li> <li>・ 平成29年度 小学校英語教科に伴う指導案や教材作成費の増額</li> </ul>											
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	高校卒業時に英検準2級相当以上の英語力を持つ生徒の割合	(目標) (40)	(40)	(45)	(50)	(55)							
		実績 35.8%	42.5%	44.8%	52.4								
活動指標	中高校生の外部検定試験受験者数(人)	(目標)											
		実績 -	-	11,245									
他県の状況						関連事業の有無・役割分担		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 無</li> <li>□ 有 事業名 (役割分担)</li> </ul>					

## 中国語教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	淵本 幸嗣			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営、補助金														
補助率	1/2~1/3														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]															
国際社会において中国語でコミュニケーションできる人材の必要性が高まっているため、県内高校生の中国語学習環境を充実させるとともに、中国語を活かした進学・就職への意欲を喚起することにより、将来、グローバル社会で活躍できる人材を育成															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 全国大会等に参加する生徒への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語スピーチコンテスト等の全国大会に参加する生徒への支援（参加旅費・宿泊費等の補助、中国人留学生等による特別指導）</li> </ul> </li> <li>(2) 県内大学・企業との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学の出前授業（国際経済、中国文学など）および中国語を学ぶ大学生との交流</li> <li>・中国進出や貿易など中国語を活かして活躍している人による講演会</li> </ul> </li> <li>(3) 高校生の中国での語学研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県の高校生10名（私立高校を含む）を中国に派遣（15日間）</li> <li>・現地の企業等と連携した語学研修やホームステイによる生活体験学習等を実施</li> <li>・海外研修前後に中国語検定を受験するほか、事前研修や事後研修を充実</li> <li>・現地企業等を訪問し、職場体験を実施</li> </ul> </li> </ul>															
[受益者] 足羽高校中国語コース、敦賀気比高校進学コース（中国語選択）						[想定される受益者数] 約200人（足羽約90人、敦賀気比約110人）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会参加補助金</li> <li>・中国語学研修（3月に実施、10人派遣予定）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業や大学生との交流など県内大学との連携を強化</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 中国語教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	淵本 幸嗣				
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営、補助金											経過年数			7 年
補助率	1/2~1/3														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,997			(諸) 1,000	1,997										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点								
当初予算額の推移		1,406	1,863	3,006	2,997	2,997									
2月現計予算額の推移		1,406	1,816	3,006	2,997										
決算額の推移		1,111	1,598	2,434											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	中国語検定合格率 (%)	(目標) (25)	(25)	(25)	(30)	(30)									
		実績 23	20	25											
活動指標	全国大会参加人数 (人)	(目標)													
		実績 34	26	37											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							